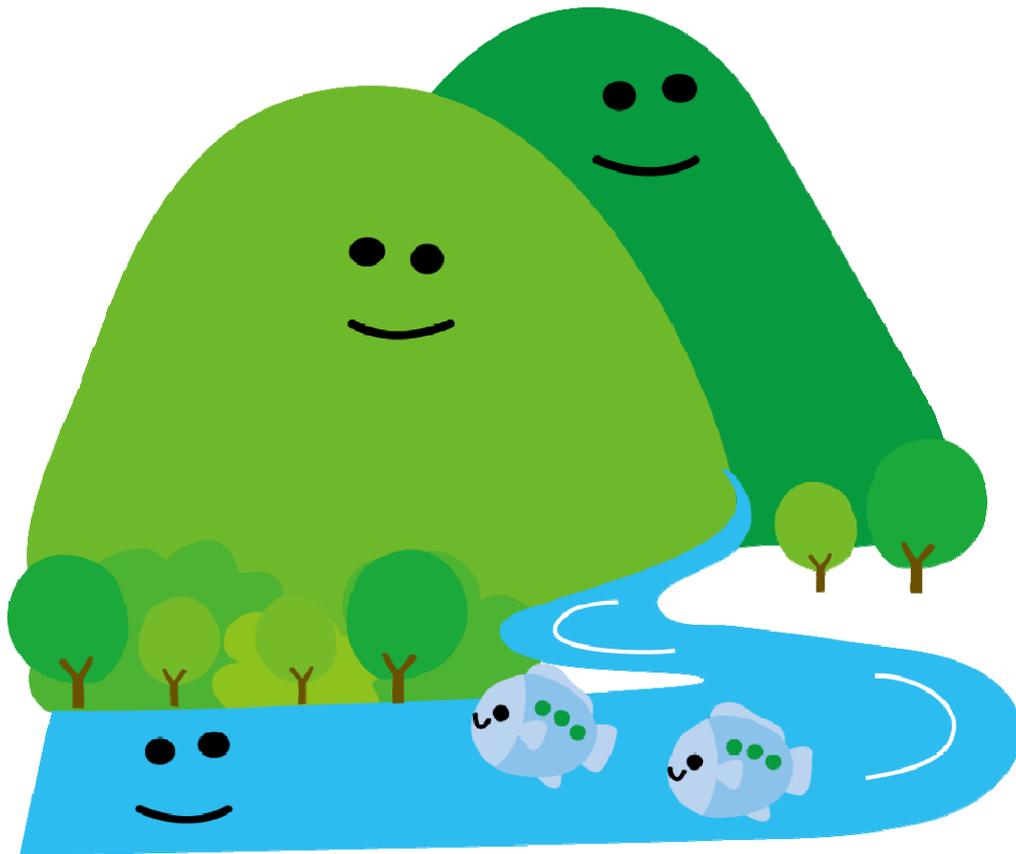


**REX**

# CSRレポート 2014



発行 2015年 4月  
レッキス工業株式会社

## 創業の精神 社是「三利の向上」

社是に「三利の向上」を掲げています。これは、創業者の貴重な経験と努力から生まれた、会社のあり方についてまとめたものですが、創業者の理念として、現在の「理想の姿」が生まれた背景になっています。

三利とは、お客様、社員、社会の三者の利をいいます。この三者がいかなる場合にも共に利あるよう全社員が一丸となって努力します。

各人が互譲、信頼の精神並びに共治、共栄、共福を達成し、社会に貢献していきます。

## 私たちが目指す「理想の姿」

1. 独自の技術・サービスでワーキングアメンティを創造し、豊かな社会の実現に貢献します。
2. 配管業に携わる方々をメイン顧客とし、感動を与える製品・サービスの提供を通じて、信頼される会社を実現します。
3. 社員一人ひとりが元気で笑顔で、働きがいのある会社を実現します。

## トップコメント



代表取締役社長  
宮川 純一

### <「パイピング ソリューション」で社会貢献>

- ◆ レックス工業では、水道やガスなど我々の毎日の生活になくてはならないライフラインの確保の為、配管設備など様々な分野での商品開発に力を注いでいます。「パイピング ソリューション」を合言葉に、あらゆる配管のトラブルや課題解決を通じてお客様の満足度の向上や社会貢献に取り組んでいます。
- ◆ 近年は特に震災などの災害に強い耐震性・耐久性に優れた配管システムの提案や、作業現場で働く人々の作業環境や環境保全など、お客様視点でのモノづくりを基本に、高品質な商品・サービスの提供を目指しています。

### <CSR活動推進で人も企業も成長>

- ◆ レックスではCSR活動（社会貢献）を大きく3つの分野で取り組んでいます。
  - ① 商品・サービスの提供を通じて社会インフラの整備に貢献
  - ② 障がい者雇用やボランティア活動を通じての地域社会への貢献
  - ③ 環境にやさしい商品作りや、省エネ・リサイクルで地球環境保全への貢献これらの活動を我々メンバー一人ひとりが「当たり前の行動」として積極的に取り組み、人（従業員）の成長を通じて「社会から選ばれる企業」を目指します。

### <そして「私たちが目指す理想の姿」実現のために>

- ◆ 日本企業は、為替・エネルギー・税制など六重苦に苦しめられてきました。そんな逆風のなか「日本のメーカー」として生き残るには、日本人が日本でしか出来ない商品サービスを提供し続けることだと思います。
- ◆ 一方で、世界で競争力のある商品を市場に提供するには、レックスの中国・アメリカの工場や世界各地のビジネスパートナーとの連携が大変重要です。これらのグローバルパートナーは、4年前の東日本大震災やタイ洪水などの災害や中国リスク等による事業継続計画（BCP）のリスクマネジメントにも重要な存在です。
- ◆ 最後に社内においては「ほめ合える文化」の浸透を通じて「個人も職場もやりがいがあり、達成感が得られる環境づくり」を推進しています。そして「笑顔」いっぱいの会社を目指します。

# REX PIPING SOLUTION

「切る」「継ぐ」「環境保全」をテーマとして、  
ライフラインを支える配管設備の課題解決に  
REXならではの独自性と創造性で貢献します。

これまでに耐震工法としてポリエチレン管の融着工法や、転造ねじ加工技術などを活かして、社会インフラの整備に役立ってきました。また、あらゆる配管のトラブルや課題解決を通じて商品を開発・提供し、水道・ガスなどの生活に必要なライフライン確保に向けた社会貢献に取り組んでいます。

## ポリエチレン管 融着機器



「地震に強い」「腐食しない」「軽く施工しやすい」といった、ガス用ポリエチレン管の優れた特性をいかすため、ポリエチレン管の施工に必要な各種工具類の開発をおこなっています。

この中心となるのがEF工法（エレクトロフュージョン）に必要なEFコントローラ（上写真）です。

また、水道配水用にもポリエチレン管が使用され、工法に対応すべく必要となる各種工具類を開発・提供することで貢献していきたいと考えています。

## 管内保全機器



管内の検査をはじめ、状況に応じて清掃や洗浄・浄化をすることで、赤錆やぬめりなどの「配管トラブルの解消」が可能になりました。

管内検査用の管内カメラ（Gラインスコープ 30）（上写真）は、広角レンズで管内の様子を検査・録画します。

つまった排水管には、つまりを除去する配水管クリーナーなど、配管寿命の延長だけでなく、コストや環境保護にも配慮した保全システムでより安全で安心できる「水のある生活」をサポートしてまいります。

特集

# BCPの強化

グループで取り組むリスク・事業継続対策

日本は世界でも有数の地震国です。近年の台風もより大型となり、これらがいつ生産拠点や営業拠点を直撃するかわからない中、PIPING SOLUTION によるライフライン確保に向けた取り組みも商品が供給できなくなれば貢献とは言えません。

当社は、そんな有事に備え、強固な組織を目指し、BCP\*（事業継続計画）の強化に取り組んでいます。

\*BCP：Business Continuity Plan の略。 災害や事故などの不測の事態を想定し、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても速やかに復旧・再開できるようにあらかじめ策定しておく行動計画のこと。

## 人命対策 … 「安否確認システムの拡大」 「災害備蓄品の増蓄」

有事の際はまず何より人命最優先で対策を進めています。

今年度は、全社員に「安否確認システム」の利用を促し、ほとんどの社員がシステムへ登録。通信確認ができるまで、安否確認メールの着信・返信を繰り返しテストしました。

災害時を想定した備蓄品も買い増しをしました。新たに帰宅時に必要な「帰宅セット」(右写真)を購入。国内の工場や営業所にも配置し、全国的な対策展開を進めています。



地震を想定した避難訓練も昨年から続けて実施しています。今年は作成した「緊急時対応マップ」に沿って行い、避難後の二次災害防止説明も加え、緊急時における同マップの有効性も確認しました。また、備蓄品の使い方については、社長を本部長とする「緊急対策本部」を設置し、設備停止を想定した復旧対応訓練や、食料の試食なども初めて行いました。



避難訓練（避難完了確認の様子）



「緊急対策本部」設置の実践

## 設備対策 … 「本社工場棟の耐震化」 「設備の耐震化」

今年度は設備・作業者の一番多い生産部門が保有する建物棟の耐震診断を行いました。生産機械・マシンニングセンタを多く保有し、夜は無人で稼働も可能な機械は、部品を加工するための最重要設備です。診断結果より関連部門で検討を重ね補強計画案まで作成しました。

今後は、計画の遂行並びに、他の建物棟の耐震診断を進めていきます。

また、生産に必要な治工具や、断水時の継続給水用の受水槽の耐震化なども並行して進めております。



耐震化計画の中央棟（生産工場）



耐震補強された受水槽（満水 20 t 保有）

地震による出火を最小限に抑える防火訓練も多くの時間を割いて行っています。本社工場は住宅に囲まれ、場合によっては周囲の住宅火災も考えられますので、消火栓と消火器を直ぐに持って放水できるよう、東大阪市消防署管内の消火操法大会に毎年出場しています。今年は消火栓・消火器の両部門で一位となりました。



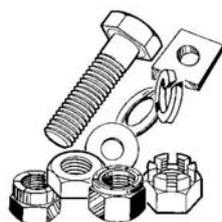
消火栓・操法競技大会の風景



優勝 Shield

## サプライチェーン対策 … 「海外生産拠点の活用」

災害により部品供給が途絶え、生産ができない状況为了避免するためのサプライチェーン対策を検討しています。購買部門が中心となり、もし自社工場が部品不足や損壊で稼働ができない時は、海外の生産拠点（中国・蘇州工場など）を利用し、主要商品が生産できる体制づくりを進めています。



供給の確保



その他、為替リスク対策など、関連部門が一体となり推し進めています。

# 障がい者雇用を通じて

健全者と障がい者が自然と協働できる組織風土と  
本業を活かした社会貢献

昭和 13 年に創業者が一人の聴覚障がいのある方を雇い入れて 70 年以上、障がいを持たれた方と一緒に仕事をしています。

この間、仕事面では障がいの有無を問わず先輩が後輩を教え、サークル改善活動など共に行っています。交友面では慰安旅行や納涼パーティー・新年会・忘年会と、手話も自然に覚えてきました。

そんな「健全者と障がい者が自然に協働できる組織風土と、本業を活かした社会貢献」が強みとして評価され、2014 年度「関西経営品質賞 優秀賞」を受賞しました。これからも支援学校や企業協会の方々との交流なども大切に、障がい者雇用・支援を進めてまいります。

## 障がい者雇用

障がい者の雇用率は 11.5%（2015 年 3 月時点）と、今も高い雇用率を維持しています。（法定雇用率：2%）長年の取り組みにより、障がい者を継続的に受け入れるための社内の仕組みや環境が整ったと感じております。これからも雇用率 10%維持を目標として、働きやすい職場づくりを進めてまいります。

## 支援学校生との交流 … 「職場体験の受入れ」「工場見学」「花壇の提供」

府内には多くの障がい者支援学校があります。今年度も支援学校より 5 名の職場体験研修の受入れを行いました。また、支援学校の P T A や生徒さんの工場見学の受入れもしました。地元の支援学校からは、昨年に続き提供した花壇に綺麗な花を沢山植えていただくなど、学校との交流も深めています。



職場体験・研修風景



生徒さんの工場見学風景



たまがわ高等支援学校生徒による植花

## 障がい者雇用対策協議会（企業団体）での活動 … 「働く障がい者への支援」

今年も 5 月の日曜日に東大阪市民ふれあい祭りで模擬店を開きました。社員や協賛企業からバザー品の提供を受け、模擬店で販売（右写真）。収益金は全て「大阪府布施障害者雇用対策協議会」へ寄付し、働く障がい者の雇用継続のために使用されます。

そんな働く障がい者のつどいが、今年も「吉本なんばグランド花月」（観劇鑑賞）で、おこなわれました。



# 地球環境を大切にした活動の展開

事業活動を通じて、環境保護に貢献

当社が展開している活動は、環境方針に掲げた「事業活動を通じて、環境保護に貢献する」ことです。自社商品の環境配慮がテーマとなり、それに関連して省エネ（電力削減など）や、排出される無駄なゴミの削減（リサイクル率向上）の取り組みへと展開しています。

## 環境対応商品の開発 …… 目標：「全商品に環境配慮を施す」

新商品を開発する条件の一つに「環境配慮」という項目を追加しました。

具体的には新商品企画段階で「環境配慮」を必須とし、いくら良い商品と判断しても環境への配慮がなければ、企画承認がされないシステムになっています。

最新商品では自動停止装置機能を付けたパイプマシンが（右写真）、連続加工時の効率化や、省エネに貢献。また、環境配慮だけでなく、安全性や機械負荷の低減など、使われる方にも配慮しております。

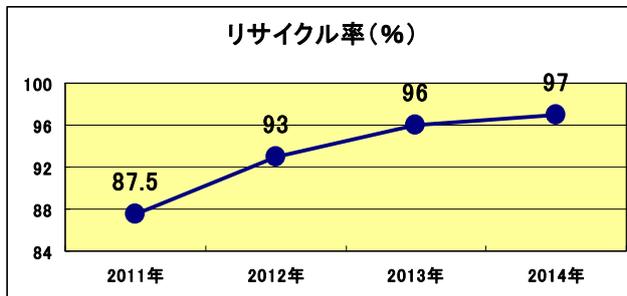
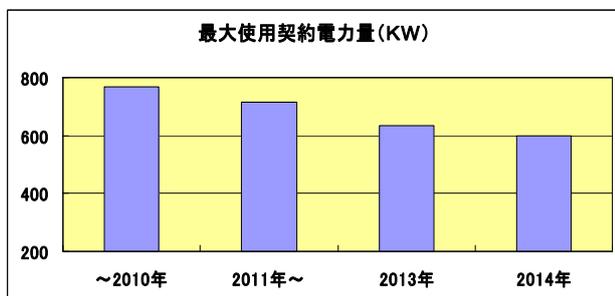


F80AIII GX パイプマシン

## 製造過程での取り組み …… 「電力削減」 「リサイクル率向上」

商品を形成する全部品が RoHS 指令を機に有害物質を使用しないものになりました。

社内工場で加工する部品は、1秒でも短い時間で加工できる様に継続的な改善を進め、契約電力を4年間で22%も下げることができました。今後は、下がった電力量（600kw）の維持が目標になります。工場内から出るゴミは、徹底した分別と、環境啓蒙により大巾に減り、リサイクル率が年々向上しています（今年度は目標96.5%に対し97%を達成）。特にトットリ工場内ではリサイクル率99%を超え、日本工具工業会より環境特別賞を受賞しました。今後も継続してゴミの削減を進めてまいります。



分別の一つエコキャップ運動（ペットボトル・キャップ提供による途上国の子供たちへワクチンを贈る活動）も4年が経ち、これまでに約2万個ものキャップを提供し、多くのワクチンに変わりました。

年度	~2012	2013	2014	合計
キャップ提供数	6840	3784	3526	20,321

\*キャップ860個でワクチン1本です。



「働きがいのある会社」に向けて、幾つかの取り組みを続けています。社員が元気で、笑顔を大切にすることがコミュニケーションを良くし、造られる商品の出来栄えにも繋がるからです。

### 法令遵守の徹底 … 「コンプライアンス・ガイドブックの全面改訂」

目指す職場づくりの前提となるのが「法令」「社内規定」「社会マナー」などを、しっかり守ることで。



「ガイドブック」で不正行為などの予防を図る

そのために今ある「コンプライアンス・ガイドブック」の全面改訂を行いました。関連する法令を全て洗い直し、一覧表にまとめ、関連の深い部門を明確にしました。

また、その解説として「絵で見る補足説明書」も新規作成しました。今後は、徹底のための社内勉強会も実施していきます。



### 安全衛生活動 … 「活発な委員会」

「安全第一」をスローガンに安全衛生委員会が、日々活動しています。担当委員は、職場の危険箇所を調べ都度報告、直ぐに改善します。月一回の社内5Sパトロールも行い、常に安全・衛生面に目を光らせています。今では積極的に整理整頓に取り組む部門もあり、設備による怪我は無くなりました。

### 笑顔あふれる会社を目指して … 「ありがとう！活動の浸透」

感謝の気持ちを伝えるための「ほめ合える掲示版」を開設して3年目となり、多くの「ありがとう！」の言葉や、書込みでいっぱいになってきました。今年は手書きのカード用にポストを増設したり、「ありがとう語録」を募集して、働きがいのある会社を実現するための「合言葉」にもしました。これからも全社員が笑顔で元気で働ける会社づくりを進めてまいります。

「ありがとう！」書込み実績

年度⇒	2012	2013	2014
ありがとう件数	456	942	1301
参加率 (%)	47	54	60

**「ありがとう！語録」**

「あ」 明るく元気な職場をめざし  
 「り」 理想と理念を高く持ち  
 「が」(か) 感じたことを言葉にして  
 「と」 共にほめ合い、助け合い  
 「う」 嬉しい気持ちを分かち合おう！

### 地域清掃活動 … 「工場周辺清掃」「駅前周辺清掃」

定期的な清掃活動を続けています。今年からはテクノサービス部門に加え環境担当メンバーが駅前周辺の清掃(右写真)を毎秋に。今後もチームワークを大切に、続けていきます。





レックス工業株式会社  
<http://www.rexind.co.jp>